

2011. 7. 1

日本自然環境ボランティア協会

東日本大震災ボランティア活動報告書（#4）

日 時：2011年6月24日（金）～6月26日（日）2泊3日

活動地：宮城県石巻市・東松島市

参加者：HY、MN、KI、YK、NK、HS、TB、MM、HS、MH、TN、YI、CK、KHの14名（内下線8名がJ-VIPAメンバー）

交 通：MN 所有車、KI 所有車、YK 所有車

宿 泊：石巻市南境集会所に宿泊

旅程・活動内容：

6月24日（金）：19時半に早稲田大学／20時に代々木上原に集合し、首都高・東北道・三陸道で翌日2時半に石巻市着、南境集会所にて宿泊。

6月25日（土）：6時起床、朝食・打合せ、7時にNPOミーティング参加、8時半に湊中学校に到着し、①炊き出し（MH、YI、CK）、②水産加工場の清掃（HS、TN、KH）、③側溝の泥だし（HY、MN、KI、YK、NK、HS、TB、MM）の3チームに分かれて活動。みなと食堂にて昼食。16時に作業終了。17時に女川町の被災地を視察。18時に自衛隊風呂入浴。19時に夕食。22時に集会所に戻り、懇親会。23時半に就寝。

6月26日（日）：6時半起床、7時にNPOミーティング参加、献花リースづくり。8時半に出発し、大川小学校、長面浦、東松島市の3箇所を訪問し、慰霊献花。11時半に東松島を出発し、途中で昼食をとり、18時に南浦和、18所沢、高田馬場にて解散。

経 費：高速代 34,010円＋ガス代 47,253円＋食糧代 1,000円 合計 82,263円
（累計 257,863円）

※Eatonville 募金から支出

特記事項：

- ・南境集会所は、災害ボランティアを推進するNPOの活動拠点の生活センターの近くにある。事前に連絡を入れれば寝袋による宿泊も可能。宿泊費はカンパ制。電気・トイレ・水道・ガス・冷蔵庫あり。
- ・今回は石巻災害ボランティアセンターに登録しないで活動に参加した。全員、ボランティア保険には個人済。
- ・今回の炊き出し活動に際し、早稲田大学国際教養学部教職員有志の寄付により、サクランボと白玉ぜんざいを200人分提供した。6月下旬になり、魚介類が流通しはじめたそうで、この日のメインメニューはサバの塩焼きだった。数日前にはさんま、あさが手に入ったとのこと。避難所には高齢者が多いため、「白玉ぜんざい」は好評であった。サクランボは配送の関係で、翌日の提供となった。

- ・清掃を行った水産加工場は、前回の J-VIPA メンバー派遣でお手伝いした S さんが経営する加工場で、壁面・天井や設備の清掃を行った。復興のためにはこうした個人経営の加工場の手伝いも重要である。
- ・側溝の泥だしは、湊中学校の正面の道路で片側約 80m 部分を行った。土嚢袋でおおよそ 250 袋分の土砂を掻き出した。新潟から来たニコニコ団のメンバー 4 人も加わっての活動となった。途中で土嚢袋が足りなくなり、石巻専修大学内の倉庫に取りに行った。
- ・早大生の H さんの発案により、被災地で慰霊を行うこととなり、NPO 法人感性総合研究所から生花の寄贈を受け、メンバー全員で献花のリースを作成し、石巻市大川小学校付近（北上川）、石巻市長面浦、東松島市鳴瀬川河口付近でリースを流し、慰霊を行った。

以 上

PHOTOS



炊出し



サバの塩焼き



白玉ぜんざい



メニュー



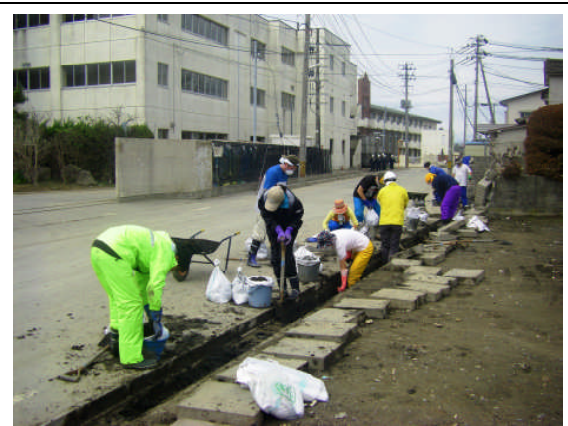
水産加工場掃除 1



水産加工場掃除 2



側溝泥だし 1



側溝泥だし 2



側溝泥だし 3



泥を詰めた土嚢袋



リースづくり



献花



慰霊 1



慰霊 2